

**町内5校でプログラミング学習を開始**

文部科学省が示す学習基準「新学習指導要領」に新しく追加されたプログラミング教育が、1月から2月にかけて町内5校で初実施されました。参加児童は、論理的思考力を身に付けるためPCやロボットを活用した学習を体験。これまでない斬新な授業に子どもたちは好奇心旺盛に学習に取り組んでいました。



↑上野小1・2年生20人は、手書きの線を認識して動く「オゾボット」で学習。

↓3度目のお茶席は落ち着いてでき、慣れたお手前を披露しあう園児たち。



**金田保育園でお茶会  
静と動の切り替えを学ぶ恒例の「お茶会」**

金田保育園で2月16日に「お茶会」が開かれ、年長組28人が見事なお手前を披露しました。雰囲気や環境など日本の伝統文化に触れ、静の心を身につける恒例行事で、今回が卒園前最後の会。いい緊張感の中、習った礼儀作法を見せ、絵画教室で手作りした茶碗で抹茶を飲み、園生活の思い出を作っていました。

↓上野焼が初めて並んだ、福岡空港内の日本航空グループのお土産店。(撮影のためマスクを外しています)



**上野焼バレンタインちょこを販売  
上野焼が福岡空港に初進出**

福岡空港内の日本航空グループのお土産店で、2月1日から14日まで上野焼のお猪口が販売されました。年に一度の上野焼企画「バレンタインちょこ展」に合わせ、福岡空港に初進出。ふくちのち館内にある「ものづくりラボ」が作製した特製のボックスとコラボしたお猪口は、これから可能性を感じられる大きなPRとなり、売れ行きも順調の様子でした。

**福智町ふるさと納税**

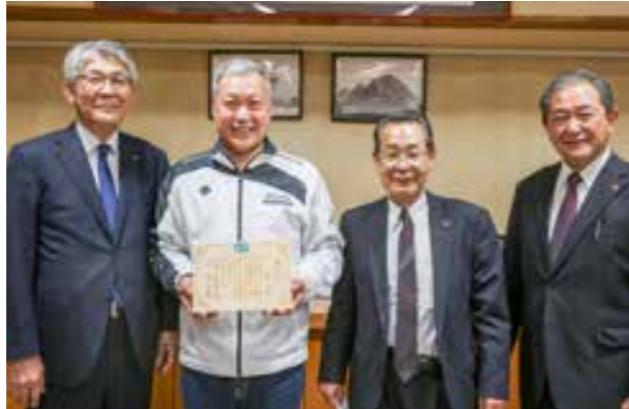
**ふるさと納税の寄付が過去最高額を突破**

2020年の福智町ふるさと納税が昨年の約4.45倍となり、寄付額がおよそ21億4992万円で過去最高額を突破しました。コロナの影響による「巣ごもり需要」や出品サイトを増やすなどPRを工夫したことが寄付額増加の要因。過去を大幅に上回る善意が全国から寄せられ、町の知名度向上や特産品のPRにつながりました。



↑寄付金はまちの振興・発展に寄与することを目的とし、「ふくちのち」等で活用。

↓国産ヒノキで初めて作られた特別な表彰状を手に頬を緩めた宇野等さん。



**九州地区スポーツ推進功労者表彰  
スポーツ振興に寄与した宇野等さん受賞**

九州地区内のスポーツ振興に貢献したとして、宇野等さん(金田)が九州協議会から「スポーツ推進委員功労者表彰」を受けました。22年間、町スポーツ推進委員として活動を続けてきた宇野さん。「今後も体育活動を盛り上げながら、次世代を担う若手委員の発掘と育成に尽力していきたい」と力を込めました。

**第29回 田川の子どもたちによる絵画展  
福智の児童・生徒9人の力作が入賞**

田川市郡から4057点もの作品が集まった「第29回 田川の子どもたちによる絵画展」で福智の児童・生徒9人の作品が入賞しました。町内学校で最高賞の銀賞に輝いた金田義務教育3年の辰島虎くんと市場小5年の松熊威吹くん。9人の入賞作品は、2月6日から28日まで田川市美術館で公開展示されました。



↑「炎の中で考えている虎」辰島虎くんⒶ、「夕やけ空の樹」松熊威吹くんⒶ。

↓寄贈されたオリジナル「なかポロ」と記念ラベル付き「泡盛(沖縄名産のお酒)」。



**世界遺産登録20周年記念  
兄弟都市・中城村が町に記念品を贈呈**

福智町の兄弟都市・沖縄県中城村は、2月1日に村内の世界遺産「中城城跡」が登録から20周年を迎えた記念として作成されたオリジナル「なかポロ」など6点を福智町へ贈呈しました。受け取った黒土町長は「コロナ禍での心遣いに温かい気持ちになった」と遠く離れた地の兄弟に向け、感謝の意を述べました。